

「親」って，どんな存在だろう。

「母親は，懐中電灯。子どもの足元を照らし，導く」

「父親は，レーダー。子どもの未来を予測し，導く」

そういえば，「親」という字から，

「木の上に立って，帰ってくる子どもを見ている姿」

という話も聞かれます。

「親」

改めて，子どもに大きな影響を与え続ける存在だと感じます。

自分が親になって，子どもが育って，一人立ちしていく。

その中で，

「社会人」として，「社会に役に立つ人」になって欲しい。

他人に迷惑をかけることなく，生きていって欲しい。

そんな願いを持っているのは，

多くの親として共通の思いではないでしょうか。

「親は子どもの鏡」

改めて，背筋が伸びる言葉です。

本校の目指す生徒像は「世の光となる力を持った生徒の育成」。

学校教育も家庭教育も，学びの先にあるものは同じです。